



和歌山

# 県民の友

No.832  
平成19年  
【2007】

# 12

月号

福祉特集  
P2

## すべての人が 安心して暮らせる 社会をめざして



県立紀伊コスモス養護学校のみなさん



第7回 全国障害者スポーツ大会  
「秋田わか杉大会」の開会式で入場  
行進する県選手団

隅田駅から飛び越え石の道中にあり、  
浮かし彫りで長歌が刻まれている珍し  
い万葉歌碑です



P14

ふるさと再発見！  
「万葉のみち」  
(橋本市)「散策

P6

わかやま2007  
和歌山県  
この一年の  
振り返り

# すべての人が 安心して暮らせる 社会をめざして

「みんなと住みなれた町で幸せに生きたい。」それは誰もが願うこと。障害があってもなくても、その願いはみんな同じです。

問 県庁障害福祉課 ☎073-441-2533

## 学ぶ

「いったぞー!」「ナイスキャッチ!」  
ティーパーティングを楽しむ声が校庭を飛び交います。

県立紀伊コスモス養護学校には、小学部、中学部、高等部あわせて210名の児童生徒たちが学んでいます。

子どもたちは、学校生活を通じて生活する力、社会へ出て行く力を身につけるなど、よりよく生きるために必要なことを学んでいます。

宮本校長は「学校では、子どもたちが生活しやすいように環境を整えられ、それぞれの子どもに応じた取組が行われていますが、社会へ出ると当然ながらそうもいきません。こうしたギャップは解決すべき課題の一つであり、これを解消することは、結局、みんなが暮らしやすい社会の実現につながるんだと思います。」と話してくれました。

また、学校では、オープンスクールやボランティア講座を開催するなどして、地域との交流を活発に行っています。

宮本校長によれば、「ボランティア講座に参加した高校生から『手助けしようと思っ

て参加したが、そうではなくて、楽しい時間を一緒に過ごす中で、互いに学び支え合うことが大切だと気づきました。』という感想が寄せられました。障害があるからといって支援してもらえばいいわけではありません。子どもたちが発信できることもたくさんあります。もっと交流を深め、少しずつでもみんなの意識が変わればと考えています。」



## 働く

「がんばって仕事をしています。」  
今年4月から、済生会有田病院で、看護助手として障害のある2人は、働いています。

済生会有田病院が、2人を雇用するきっかけになったのは、県立たちばな養護学校の校長先生の熱いアタックでした。

まず、在学中に何度か実習を経て、卒業後、ジョブコーチ支援制度を活用して、正式雇用になりました。

指導担当職員の方は、「試行錯誤をして指導方法を考えました。また、その時の指導方法は、これからのすべての新規採用職員に対しても効果的な方法であることに気づきました。」

2人が一所懸命に仕事をしている姿は、周りの職員には良い刺激になっていました。」と話してくれました。



### 2人からの一言

— 今の仕事の内容は  
患者さんの周辺の掃除、シート交換です。  
— 働いてよかったこと  
お給料がもらえ、友達と服を買いに行ったりカラオケに行ったりできることです。  
— 仕事をしていて楽しいことは  
初めは、先輩の方とうまくコミュニケーションがとれませんでしたでしたが、今は、一緒に仕事をしておしゃべりすることがとても楽しいです。  
— 今後の目標は  
今の仕事を、きちんとできるようにすることです。  
それから、次のステップに進みたいと思います。

## 暮らす

グループホームでの共同生活

「今日の夕食はおいしかったな。」

感謝の気持ちが自然と出る家庭的な雰囲気。地域での生活には不安や悩みは付きものですが、支援スタッフや地域の支えを受け、多くの人たちがグループホーム、ケアホームで共同生活を送っています。

### グループホーム利用者の声

「趣味はカラオケ。たまに行って思いっきり歌います。」  
パチンコ、将棋、散歩など趣味は様々。  
休日は思い思いの過ごし方をしています。

「朝の出勤は7時30分です。」

「私は8時です。」  
朝も早く日々の仕事は大変ですが、それぞれの職場で一所懸命がんでいます。



「皆一緒にご飯を食べること、めったにないなあ。」  
食事も自分のペースで。お互いのライフスタイルを尊重した共同生活です。

「将来は単身生活をめざしている仲間もいます。」  
グループホーム、ケアホームでの経験を踏まえ、それぞれが将来の夢や目標を胸に抱いています。

支援スタッフも、そんな思いを表現すべく、ともにがんばっています。



「施設を出て地元で暮らしたい。」障害があっても将来は独立して生活したい。

県では、障害のある人それぞれの思いを受け止め、暮らしたい場所で暮らせるよう、グループホーム、ケアホームの質的、量的確保に取り組んでいます。

## 競う・楽しむ

「人とのふれあいを楽しんでいます。」

スポーツは障害のあるなしに関わらず、健康維持や体力増進につながるだけでなく、お互いに助け合い、喜びを共有できる素晴らしいものです。

障害者スポーツとは、障害者のために特別に考えられたものだけではありません。誰もが楽しんでいられるスポーツに少し工夫を加えて、同じような障害や年齢の人たちで競えるようにしたものです。

陸上競技では、車いす使用者に「レーサー」と呼ばれる競技専用の車いすが認められていたり、卓球競技では、視覚障害のある人を対象にサウンドテーブルテニスという種目があり、専用の台で金属球の入ったボールを転がし、その音を頼りにラケットで打ち合います。

障害者スポーツには、いろいろな種目がありますので、一人でも多くの方に参加して楽しんでいただければと考えています。

県では障害者スポーツの振興を図るために次のような事業をしています。

- ・ 県障害者スポーツ大会、フレンドシップ、ゆうあいスポーツフェスタなど各種スポーツ大会の開催
- ・ スポーツを身近に楽しんでもいただくために、スポーツ教室を開催
- ・ スポーツ指導員を派遣
- ・ スポーツ指導員の養成



### 第7回全国障害者スポーツ大会 和歌山県選手団 主将 谷 禎さん

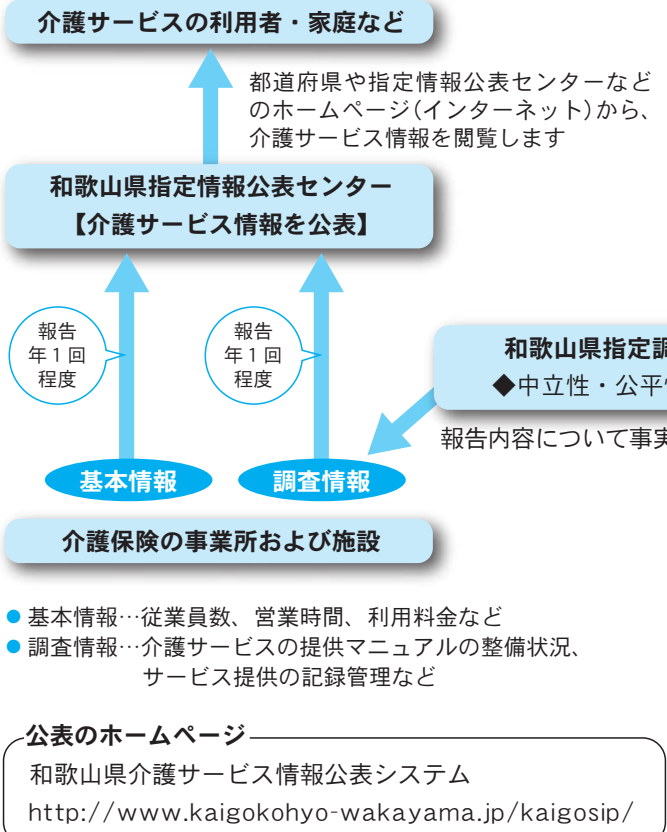


秋田県で10月に開催された第7回全国障害者スポーツ大会にフライングディスク競技で出場しました。みんなの支えがあったおかげで金メダルをとることができ、とても良かったです。

私にとってスポーツをすることの魅力とは、体を動かすことで肉体的に元気になるということだけではなく、若い人をはじめ大勢の人たちとふれあい、感動や楽しさを共有できることにあります。

今後は、障害者スポーツの素晴らしさを若い人たちに伝えていきたいと思っています。また、スポーツをしたくてもどこに行けばいいかわからない人もたくさんいると思うので、そのような人たちの相談にのって障害者スポーツを広めていきたいと考えています。

そして、私自身今後ともスポーツを楽しんでいきたいと思っています。



## 要介護高齢者等支援

### 介護サービス情報の公表

介護保険法の改正により、平成18年4月から介護サービスを提供している事業者は介護サービス情報の公表が義務づけられました。

この公表制度は、介護サービス事業所が標準的な介護サービスに関する情報を定期的に公表することにより、利用者が事業所を選択する際に比較・検討できるための仕組みです。

利用者は、公表された介護サービス情報を活用して利用する事業所を選択でき、事業者は自らの情報を提供することで、利用者本位の事業者を通じてサービスの質の向上が図られることが期待されています。



## 成年後見制度

### 成年後見制度とは

認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が十分でない方について、本人の権利を守る援助者(成年後見人)等を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度です。

### 法定後見制度

家庭裁判所によって選ばれた成年後見人等(成年後見人・保佐人・補助人)が本人の利益を考えながら、本人に代わって財産を管理したり、必要な契約

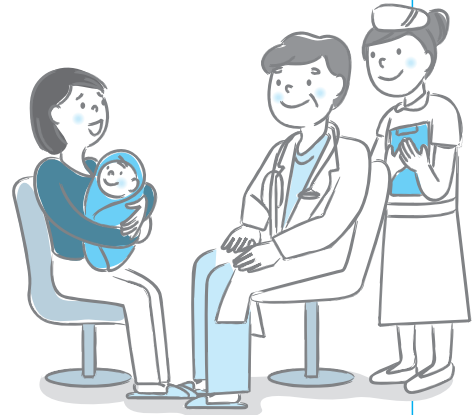
### 任意後見制度

将来、判断能力が不十分になった場合に備えて、あらかじめ自らが選んだ代理人(任意後見人)に自分の生活、療養看護や財産管理に関する事務について、代理権を与える契約を、公証人の作成する公正証書によって結んでおくものです。

## 子育て・女性支援

### 育児相談サロンの開設

専門機関の窓口が開いている平日の日中は、仕事があったり、あるいは子育てに忙しくて外出しづらかったりする保護者の育児を支援するため、よく買い物に行く量販店に、育児上の悩みなどを専門家に相談できる休日の子育て相談窓口「育児相談サロン」を開設しています。



### 子育て応援企業とは…

県は、子どもを持ちたい人が安心して生み育てることができるとともに、雇用の環境を整備し、「自社の労働者に対する育成のための地域貢献活動」などの取組を実施する企業を、「子育て応援企業」として認定しています。

現在30社を認定しています。貴社も子育て応援を積極的にに行い、認定を受けませんか！

## ※DV被害者支援センター(紀南DVセンター)の開設

県では、DV被害者を支援するために、紀南DVセンターを設置し、主に紀南地域に居住するDV被害者の支援を行っています。

また、県女性相談所(☎0734450793)でも支援を行っています。

DVは、身体的な暴力はもちろん、精神的、経済的、性的なあらゆる形の暴力が含まれます。

DV被害で悩んでいる方は、ひとりで悩まず、まずお電話ください。

※DV：ドメスティックバイオレンスの略。配偶者からの暴力のこと。



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

## 母子家庭等自立支援施策の一例

- 就業支援**  
母子家庭等就業・自立支援センター  
就業相談や就業支援講習会(ヘルパー2級、パソコン)の実施、就業情報の提供など一貫した就業支援サービスを実施
- 自立支援給付事業**  
「自立支援教育訓練給付金」  
県が指定する教育訓練講座の受講後に、受講料の2割相当額(上限10万円)を支給
- 「高等技能訓練促進費」  
看護師等の資格取得のため、2年以上養成期間等で修学する際の生活費を支給。修学の最後の1/3の期間、月10万3千円(最長12か月)
- 「常用雇用転換奨励金」  
常用雇用した事業主に30万円の奨励金
- 母子自立支援プログラム**  
個々の希望や事情等に配慮したプログラムを策定し、ハローワーク等と連携しながら就業を支援
- 子育てと生活支援**  
ひとり親家庭日常生活支援事業  
一時的に、日常生活や育児に困った時、家庭支援員の派遣を行う(所得に応じて自己負担あり)
- ひとり親家庭等特別相談事業  
親権や養育費等、専門的で複雑な問題について弁護士が相談に応じる
- 経済的支援**  
児童扶養手当の支給  
母子寡婦福祉資金の貸付  
ひとり親家庭医療費の助成
- 相談窓口**  
県振興局健康福祉部、福祉事務所、母子自立支援員、家庭相談員、民生委員・児童委員など
- 子どもと家庭の**  
テレフォン110番  
電話で子どもや家庭に関する悩みことの相談を受け付けています  
☎0734471152  
(月)金は午前9時～午後8時  
土・日・祝日は午前9時～午後4時30分)

## 国際アピリンピック

谷口和也さん(20歳、ホテルアパローム紀の国勤務)が、静岡県で開催された「第7回国際アピリンピック」に日本代表として出場しました。

谷口さんは、デモンストラクションの「喫茶サービス」職種で、日頃、職場で培った技能を大いに発揮し、職業能力の高さを十分にアピールしました。



問県庁雇用推進課 ☎0734412807

わかやま 2007  
和歌山県この一年の振り返り

1月 社会保険紀南病院(田辺市)を県下初の地域周産期母子医療センターに認定

2月 11月「企業の森」に3企業、4団体が参画(写真) 花王株、東宝建設株、住友信託銀行株、紀州製紙労組、JA共済連和歌山、和歌山県印刷工業組合、モスバーガー共栄会が新たに参画し、「企業の森」への参加団体が30企業・団体に。また4月には、「企業の森」経済波及効果を発表。「企業の森」事業の県内への経済波及効果が18億6千万円見込まれることを発表しました

16日 知事が全国各地で県産品をトップセールス(写真) 大阪では、初めての県産品商談会2/16を皮切りに、桃7/6、みかん11/7をトップセールス。東京では、総理官邸で梅をPRし6/4、柿10/5をトップセールス。名古屋11/23、千葉11/30ではみかん・特産加工品などをトップセールス

6日 全国初のインターネットオークションを利用した県有財産の売却を実施 7物件出品して6物件が落札され、落札金額は約1億8千万円(予定価格の約12倍)となりました

19日 本州初、車で走ると音楽が聞こえる道路が完成(紀美野町) 22日 高野山が近畿で初めて「森林セラピー基地」の認定を取得(写真) 高野山の森林の癒し効果が科学的データにより証明され、世界遺産高野山千年の森「心と身体の浄化・空海の歩いた道」として認定されました

25日 南海本線、和歌山大学新駅(仮称)の起工式 28日 「食べて元気、わかやま食育推進プラン」(和歌山県食育推進計画)公表

1日 紀の国森づくり税が施行 紀の国森づくり基金条例が施行

1日 「土砂災害警戒情報」の提供を開始

8日 県議会議員選挙が執行され、新たに46人が議員に選出 16日 自動車税等県税の一部がインターネットやATMから納付可能に。自動車税はコンビニでも納付可能に

19日 県世界遺産センターに展示・交流空間を開設(写真) 定期的なセミナーや学習プログラム「世界遺産入門」など、オープン以来利用者は1万5千人を越え、地域との交流拠点として賑わっています

22日 稲むらの火の館(広川町)オープン 県と広川町が共同で整備した防災教育の拠点施設。災害に対する備えや濱口梧陵の功績について紹介しています

5月 6月 南紀わかやまアウトドアフェスティバル(写真) 串本町、古座川町、那智勝浦町、太地町でアウトドアのイベントが開催されました。カヌーやトレッキングを通して、約3千人が南紀の自然を満喫しました

30日 障害福祉サービス事業所「エコ工房四季」(串本町)開所 6日 県内で初めて恐竜(肉食恐竜)の歯の化石を発見 11日 第1回「和歌山県森林による二酸化炭素の吸収等環境保全活動認証事業」認証式の開催 14企業・団体を認証(植栽面積約63ヘクタール、1000年間で27500トンの二酸化炭素の吸収が見込まれます)

9月 15日 地球深部探査船「ちきゅう」が新宮港に初入港 今後、数年間にわたる南海トラフの掘削期間中、新宮港が物資供給拠点として活用されます

1日 和歌山市夜間・休日心療センターの小児科診療時間の延長 和歌山市内外を問わず、小児の夜間・休日の急病時に利用できます

1日 食育応援店の登録開始 1日 南紀白浜空港利用促進のため特割7を正式導入 需用調査期間(4~6月)実績が対前年比135.1%(売り上げベース)により、新規割引運賃「特割引7」を正式導入しました

16日 (株)セブーン・イレブン・ジャパンとの協働で県産品を使った食育弁当誕生 20日 高病原性鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ対策訓練の実施(写真) 22日 「緊急医師確保対策」に基づく県立医科大学の入学定員25人増が正式決定

22日 海外の百貨店と和歌山フェアを開催 台湾(10月)、香港(11月)で柿などをPR

7~9日 駐日各国大使地方視察 伝統産業、文化に触れ理解を深めてもらうため、各国大使19カ国、31名が湯浅町や高野町等を訪れました

11日 近畿自動車道紀勢線(みなべ〜南紀田辺IC)開通(写真) 開通前のイベント10/28で、ウォーキング&サイクリングや「おやし」バンドのライブコンサートなどを開催しました

17~18日 「再チャレンジ支援地方セミナーin和歌山」を開催 那智勝浦町色川地域において、内閣府と共催で移住・交流の推進と地域の活性化を考えるセミナーを開催しました

17~18日 人権啓発フェスティバル和歌山会場(全国大会)「ふれあい人権フェスタ2007わかやま」の開催 りいぶるフェスタ、わかやまこころのフェスティバル2007も同時開催し、全国に向けて人権メッセージを発信しました

9月 5日 第70回国民体育大会和歌山県準備委員会設立総会開催 平成27年開催予定の第70回国民体育大会に向けて動き出しました

11日 和歌山県防災センター及び総合防災情報システム運用開始(県庁南別館)(写真)

6月 15日 「公共調達制度改革について」の発表 公共調達検討委員会からの提言を受け、地域社会の要請にこたえる県内優良業者の育成等を図るため、県独自の審査項目を加味した新「業者評価制度」を導入したうえで、条件付き一般競争入札を全面实施するなど、公共工事の入札制度改革を発表しました

17~22日 首都圏からの観光客誘致と地元産品の販売促進を目指し「和歌山県観光物産フェア2007」を開催(東京) 18日 和歌山県道路懇談会開催 県内外の有識者・オビニオンリーダーで構成する懇談会を開催し、8月に提言を頂き国や関係機関に対し立ち遅れている本県の道路整備の必要性を訴えました

28日 (独)都市再生機構が所有する橋本市隅田地区の山林約20ヘクタールを企業用地として県機構で共同開発 1日 県監察官に就任し、監察官制度等を本格実施

13日 山東省との経済協力枠組み覚書調印式 山東省との商談会等経済貿易活動の相互協力を定めました

29日 わかやま電鉄貴志川線「おもちゃ電車」が運行開始(写真) 1日 観光事業者の経営相談や観光振興のため(財)わかやま振興財団にプロジェクトマネージャーを設置

2日 京奈和自動車道橋本道路橋本東IC(橋本IC)開通(写真) 2日 関西国際空港第2滑走路オープン(写真) 4000m級複線滑走路を持つ完全24時間空港」という、日本初の世界標準の国際空港が本県に近接して誕生しました

8日 大都市で、「ほんまもん体験」のPRと修学旅行誘致のため関係者を対象に説明会を開催 (大阪会場で約80人、東京会場で約1200人)

21日 イオン(株)と協働による県産温州みかんストレートジュース誕生



新型インフルエンザ対策訓練



関空第2滑走路へ1番機到着



おもちゃ電車



近畿自動車道紀勢線南紀田辺IC付近



防災センターでの防災図上訓練(10/26実施)



京奈和自動車道橋本道路全線開通式典



田辺市本宮町にある県世界遺産センター



アウトドアフェスティバルの古座川クリーンアップ大作戦



高野山での森林セラピー



知事による柿トップセールス



「企業の森」での植樹風景

各振興局代表電話 有 田...☎0737-63-4111  
 海 草...県庁代表と同じ 日 高...☎0738-22-3111  
 那 賀...☎0736-63-0100 西 牟 婁...☎0739-22-1200  
 伊 都...☎0736-34-1700 東 牟 婁...☎0735-22-8551

時...期日・時間 場...場所・会場 定...定員 対...対象・資格 費...費用 申...申込・応募方法 問...問い合わせ  
 抽...希望者多数の場合抽選 HP...県ホームページでも掲載 E...Eメール \*は県庁の敷地内にはありません

## 募 集

### 教室・研修

#### 西松江緑地体育館スポーツ教室

第5期ヨガ教室  
 時 1月12日～3月8日 19:30～の土曜日 計8回  
 対・定 成人女性 20人(先着順)  
 費 7,000円

第5期幼児(2～3歳児)と親の体操教室

時 1月14日～3月10日の月曜日 計8回  
 A教室9:50～ B教室10:50～  
 対・定 2～3歳児と保護者 各20人(先着順)  
 費 4,000円

第5期幼児(3～6歳児)体操教室  
 時 1月14日～3月10日の月曜日 計8回  
 A教室(3～4歳児)15:40～  
 B教室(5～6歳児)16:40～  
 対・定 3～6歳児 各15人(先着順)  
 費 4,000円

### 共通

申・問 所定の申込用紙に費用を添えて12月18日9:00～直接県スポーツ振興財団 河西緩衝緑地管理事務所(西松江体育館内)〒640-8421和歌山市松江字29町場2000 ☎073-451-8355  
<http://www.wakayamasposhin.or.jp>

#### 木造住宅耐震改修実務者研修会

内容 契約、クレーム対応、耐震診断及び改修工事の実務等  
 時・場・定

2月5日(火)～7日(木) = 県立情報交流センターBig-U(田辺市) 50者  
 2月20日(水)～22日(金) = 和歌山ビッグ愛(和歌山市) 100者  
 いずれも先着順

対 建築一式工事の許可を有し、かつ県内に営業所のある事業者  
 申込用紙配布 県庁都市政策課、振興局、市町村役場  
 申・問 所定の申込書で1月15日までに県庁都市政策課 [HP](#)

### 職業訓練受講生

就職に有利な専門知識や技能を習得  
 時・定

電気設備科 = 2月1日～7月28日 15人  
 CAD製図科 = 2月5日～4月28日 20人  
 場 雇用・能力開発機構和歌山センター(和歌山市)  
 費 テキスト代等自己負担  
 申 1月25日までにハローワーク、会場  
 問 会場 ☎073-461-5649  
<http://www.ehdo.go.jp/wakayama/>

### おかあちゃん農家民泊研修会

民泊の受入経験談や農家民泊の開設に必要な手続き等  
 時 1月31日(木)13:30～16:30  
 場 打田生涯学習センター(紀の川市)  
 定 50人(女性優先 先着順)  
 申・問 電話、FAX、Eメールで、住所、氏名、年齢、連絡先を1月11日までに県庁経営支援課 FAX073-424-0470  
[☐ e0709001@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0709001@pref.wakayama.lg.jp)

### 盲ろう者向け通訳・介助者養成研修会

時 12月22日、1月12・26日、2月9・23日、3月8・22日 いずれも土曜日  
 場 和歌山市ふれ愛センター  
 費 無料(教材費は自己負担)  
 申・問 NPO法人和歌山盲ろう者友の会 ☎/FAX073-445-9888  
[☐ w-moro@grace.ocn.ne.jp](mailto:w-moro@grace.ocn.ne.jp)

### 講演・講座等

#### 企業防災(事業継続計画策定)セミナー

時・場 12月21日(金) = 県立情報交流センターBig-U(田辺市)  
 1月25日(金) = 県自治会館(和歌山市) いずれも13:30～16:30  
 対 企業の経営者又は防災担当者等  
 定 各100人(先着順)  
 申 郵送 FAX Eメールで氏名、電話番号、団体・所属名等を 12月14日、は1月15日までに県庁商工振興課 FAX073-422-1529  
 問 申込先 [HP](#)

和歌山県のホームページは <http://www.pref.wakayama.lg.jp/>  
 県庁・県教育委員会への郵便は〒640-8585(県庁専用郵便番号、住所の記載は不要です) 課あて 電話は☎073-432-4111(代表)

### NPO講座

NPO法人になるには? (基礎講座)  
 時 12月21日(金)19:00～20:30  
 場 県NPOサポートセンター(和歌山市)  
 対・定 NPO法人設立を考えている団体・個人 15人(先着順)  
 NPOリーダー養成講座“未来塾”  
 時・場 1月19日、2月2日 = 和歌山ビッグ愛(和歌山市) 2月9・23日 = 県立情報交流センターBig-U(田辺市)  
 いずれも土曜13:00～16:00 全2回  
 対・定 NPO関係者 各30人(先着順)

### 共通

申・問 郵送、電話、FAX、Eメールで住所、氏名(団体名)、電話番号を 12月20日、は1月18日までに県NPOサポートセンター〒640-8319和歌山市手平2-1-2和歌山ビッグ愛6階 ☎073-435-5424 FAX073-435-5425  
[☐ info@wakayama-npo.jp](mailto:info@wakayama-npo.jp)  
<http://www.wakayama-npo.jp/>

### スポーツ救急

～ヒーローたちをサポートするために～  
 スポーツドクターの役割や応急処置の仕方等について医師が講義  
 時 1月19日(土)14:00～16:00  
 場・定 県青少年活動センター(和歌山ビッグ愛内) 20人 抽  
 申・問 郵送、電話、FAXで住所、氏名、電話番号を1月12日までに県青少年育成協会 〒640-8319和歌山市手平2-1-2和歌山ビッグ愛8階 ☎073-435-5236 FAX073-435-5238

### 第5回食の安全シンポジウム

時 1月29日(火)13:30～16:00  
 場 県民文化会館(和歌山市)  
 定 350人(先着順)  
 手話通訳あり・一時保育は事前申込必要  
 申・問 1月18日までに県庁食品安全企画課



### 県男女共生社会推進センター“りいぶる”

移動りいぶるチャレンジカフェin西牟婁  
 女性の再就職・起業・仕事と家庭の両立など専門家によるアドバイス 情報提供  
 時 12月20日(木)14:00～16:00  
 場 西牟婁振興局(田辺市)  
 対・定 女性 4人(先着順)  
 申 電話で氏名、電話番号、希望する内容を12月19日までに会場  
 問 りいぶる

りいぶるわいわいサロン  
 「子育て支援を語ろうかい」  
 室みどり氏(和歌山信愛女子短期大学保育科長)  
 時 12月22日(土) 13:30～16:00  
 場・定 りいぶる 20人(先着順)

りいぶるわいわいサロン  
 「女性のためのネット活用術」  
 鳥淵朋子氏(アクト研究室)  
 時 1月19日(土)13:00～15:00  
 場・定 りいぶる 10人(先着順)

### 共通

申 電話、FAX、Eメールで、住所、氏名、年齢、電話番号をりいぶる 一時保育は事前申込必要  
 問 県男女共生社会推進センターりいぶる 〒640-8319和歌山市手平2-1-2和歌山ビッグ愛9階 ☎073-435-5245 FAX073-435-5247  
[☐ e0315011@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0315011@pref.wakayama.lg.jp)  
[HP](#)

### Yahoo!オークションで県有財産(土地)を売却

入札参加には、あらかじめ公有財産売却システムで手続きを行う必要があります  
 入札参加申込期間 12月5日(水)13:00～1月16日(水)14:00まで(郵送の場合当日消印有効)  
 入札期間 1月23日(水)13:00～1月29日(火)13:00まで(入札期間中に、インターネット上で入札価格を登録します。ただし、入札は一回しか行うことができません)

物件番号	所在地	地目	地積(m <sup>2</sup> )	予定価格(千円)	入札保証金(千円)
1	橋本市高野口町名古屋776-2	宅地	151.40	5,030	503
2	橋本市柱本15-4	宅地	422.11	8,980	898
3	橋本市柱本15-8	宅地	655.03	11,700	1,170
4	紀の川市桃山町調月32-5	宅地	1,145.91	17,000	1,700
5	和歌山市上町24-15	雑種地	35.00	1,940	194
6	広川町広867-4 木造平屋有り	宅地	236.43	4,870	487
		床面積	68.00		
7	広川町広867-6	宅地	210.83	3,060	306
8	御坊市藤田町吉田1418-1	宅地	703.32	17,500	1,750

問 県庁管財課

### その他

#### ようこそ県庁へ ～見学してみませんか～

県防災センター、県議会議場見学及び環境に関するお話し講座等  
 時 1月18日(金)13:00～15:30  
 対・定 県内在住、通学・通勤の方 40人 抽  
 申 郵送・FAXで参加者全員(1枚に4人まで。重複申込不可)の住所、氏名、年齢、電話番号を12月25日までに県庁広報室 FAX073-423-9500 [HP](#)

#### シルバー美術展出展

部門 日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真  
 時・場 1月25日(金)～27日(日) = 紀南文化会館(田辺市)  
 2月28日(木)～3月3日(月) = 和歌山ビッグ愛(和歌山市)  
 対 アマチュアで県内在住の方(昭和24年4月1日以前生まれ)  
 申 は12月14日、は1月10日までに\*県社会福祉協議会、市町村社会福祉協議会及び市町村高齢者福祉担当課  
 問 県社会福祉協議会 ☎073-435-5214

#### 築港小型船舶けい留施設使用者

けい留場所 和歌山市築港1-20地先  
 区画・年間使用料  
 ・6m×3.45m 90,720円  
 ・15m×5.9m 384,480円  
 定数 若干隻 抽  
 申・問 必要書類を郵送又は持参で12月25日までに和歌山下津港湾事務所 〒640-8287和歌山市築港6-22 ☎073-431-7266 [HP](#)

### 青少年の家

紀北青少年の家  
 〒649-7112 かつらぎ町中飯降1317-3  
 ☎0736-22-5530 FAX0736-22-5531  
<http://www.cypress.ne.jp/wasei1/>

ヒマラヤの湯で癒し!  
 時 12月18日(火)10:00～14:00  
 対・定・費 一般 50人 抽 1,000円  
 申 12月15日まで  
 連凧作りに挑戦!!  
 時 1月13日(日)10:00～14:00  
 対・定・費 小学生 50人 抽 500円  
 申 1月6日まで

こおるどフェスタin紀北  
 各種イベント、模擬店、フリーマーケット等  
 時 2月3日(日)10:00～16:00 申込不要  
 フリーマーケット出店募集  
 区画 24区画(1区画3m×3m)(先着順)  
 申 1月6日9時から会場電話受付開始

八ガキ・FAXで申し込む場合  
 参加者全員の住所、氏名、年齢(学年)、電話番号、保護者名、希望講座名を記入(電話での申込も可)  
 詳細は会場へ問い合わせ

#### 家庭・学校の省エネコンテスト

省エネ実践コンテストにチャレンジ!  
 まずは参加登録  
 省エネに取り組む(1～3月の2週間以上)  
 省エネのアイデアや実践結果を報告  
 問 省エネルギーセンター「省エネコンテスト事務局」☎03-5543-3013  
<http://www.eccj.or.jp/contest08/>

### 県立和歌山盲学校 平成20年度入学案内

募集学科 全科修業年限3年

本科	普通科	高等学校普通科に準ずる教育内容
	保健 理療科	高等学校職業科に準ずる教育内容
専攻科	保健 理療科	保健理療、理療に関する専門教育
	理療科	(高等学校卒業以上の方対象)

本科普通科以外の科は社会人(中途失明)の方も対象となります。出願は、視覚障害の状況や学歴等、募集要項に定められた要件があります

出願受付 2月12日(火)～18日(月)  
 問 県立和歌山盲学校  
 ☎073-461-0322

ごあんない

建築確認の手続きが変わりました

建築確認申請の変更点
平成19年6月20日以降の確認申請
受付分より

構造計算適合性判定制度の導入
(第三者機関による構造審査の義務付け)
審査期間の延長(21日間 35日間)
建築主のみなさんへのお願い

設計者と綿密な打合せをし、確認
申請を行ってください

余裕のある日程を設定してください
問 県庁都市政策課

配偶者からの暴力の防止及び
被害者の保護に関する法律
(配偶者暴力防止法)の改正

改正の主な内容(平成20年1月11日施行)

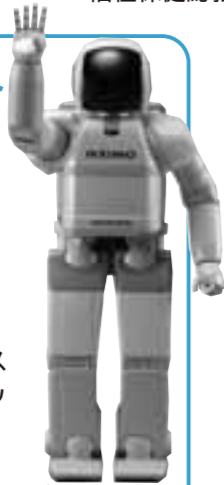
- 保護命令制度の拡充
1 生命又は身体に対する脅迫を受け
た被害者にかかる保護命令
2 電話等を禁止する保護命令
3 被害者の親族等への接近禁止命令
市町村基本計画の策定の努力義務
配偶者暴力相談支援センターにお
ける緊急時の安全確保等
裁判所から配偶者暴力相談支援セ
ンターへの保護命令発令の通知

相談窓口
女性相談所 ☎073-445-0793
紀南DVセンター ☎0739-24-3322
男女共生社会推進センター ☎073-435-
5246
問 県庁男女共生社会推進課・子ども未来課

第1回きのくにロボット
フェスティバル2007

県内での大会は初めて！
きのくに学生ロボットコンテスト
(小学生・中学生・高校生の部)
最先端技術を実感！
スーパーロボットショー
(学生の全国ロボットコンテスト
優勝校等の実演、企業ロボッ
トのデモンストレーション)

時 12月23日(祝)10:00
場 御坊市立体育館、御坊市勤労青少年ホーム
問 御坊商工会議所(実行委員会事務局)
☎0738-22-1008



原爆被爆二世健康診断の実施

対 県内在住の原爆被爆二世の方
定 38人(未受診者を優先)
場 県が委託する医療機関
申・問 12月18日までに県庁健康対策課、
保健所

虐待防止シンポジウム
～人権が尊重される社会をめざして～

時 1月29日(火)13:00～16:00
場 紀南文化会館(田辺市)
定 450人(先着順)
一時保育事前申込必要
問 県庁人権政策課

戦没者遺族の特別弔慰金請求の
お済みでない方へ

対 戦没者等の死亡当時の遺族で、平
成17年4月1日において恩給や遺族年
金等を受けていない場合に、弔慰金
の受給権者、戦没者の子、父母、兄
弟姉妹等で先順位による1人
支給内容 額面40万円の10年償還国債
請求期限 平成20年3月31日まで
請求先 市町村役場
問 市町村役場、県庁福祉保健総務課

恩給欠格者、戦後強制抑留者、
引揚者のみなさんへ

旧軍人軍属で恩給などを受けていな
い方や引揚者の方に平和祈念事業特
別基金より「特別慰労品」を贈呈
請求期限 平成21年3月31日
請求先 平和祈念事業特別基金
問 請求先 ☎0120-234-933、県庁
福祉保健総務課

工業統計調査へのご協力を

この調査は、製造業の事業所を対象に、
12月31日現在で、その実態を明らか
にすることを目的とした経済産業省
所管の調査です。調査した内容は、外
部に漏らしたり、他の目的に使われる
ことは一切ありません。調査員が訪
問した際にはご協力をお願いします
問 県庁統計課

最新の医療カンファレンス(講演)

演題 大動脈瘤の治療、乳癌の最新治療
時 1月10日(木)15:00～17:00
場 県立医科大学生涯研修・地域医療支
援センター(和歌山市)
問 会場 ☎073-441-0789

戦傷病者等の妻への特別給付金

対 「第18回特別給付金」または「第
20回特別給付金」を受給されていた
戦傷病者の妻
新たに戦傷病者の妻となられた方
請求期限 平成21年9月30日
請求先 市町村役場
問 市町村役場、県庁福祉保健総務課

終戦後、外地からの引揚時に
預かった通貨・証券等を返却

心当たりのある方は、税関へお問い
合わせください。本人だけでなく、
家族でも返還請求できます
問 和歌山税関支署 ☎073-428-3882
同下津出張所 ☎073-492-0280
同新宮出張所 ☎0735-31-5258

JR和歌山線(岩出駅・粉河駅)パーク&ライド社会実験

時 12月20～27日(土・日・祝日除く)6:00～24:00
(駐車場利用者は24:00までに必ず出庫してください)
場 岩出駅と粉河駅付近に無料駐車場を設置
(無料駐車場利用のための事前登録は不要です)
詳細は和歌山運輸支局のホームページ
http://www.kkt.mlit.go.jp/wakayama/pandr/pandr.html

県民ノーマイカーデーが同時にスタート
鉄道やバス、自転車や徒歩による通勤は、環境にやさしく、あ
なたの健康づくりにも役立ち、公共交通の維持にもつながります。
和歌山県ノーマイカーデー運動推進協議会では、毎月20日を県
民ノーマイカーデーとして広く啓発を進めていきます。みなさん
もこの機会に車に頼るライフスタイルを見直してみませんか。
問 県庁総合交通政策課

平成19年度
和歌山県文化表彰

文化の向上発展に顕著な功績のある
次の方々を表彰しました。(敬称略)

文化賞



潮 隆雄
(うしお たかお)
染織家
滋賀県在住 田辺市出身
日本を代表する染織家の一人と
して幅広く活躍されています

文化功労賞



小林 慶三
(こばやし けいぞう)
音楽師
和歌山市在住 和歌山市出身



原 盾二郎
(はら じゅんじろう)
音楽家・合唱活動
田辺市在住 大阪府出身



三尾 功
(みお いさお)
文化財保護・近世地方史研究者
和歌山市在住 紀の川市出身



岸 ミツアキ
(きし みつあき)
ジャズピアニスト
東京都在住 橋本市出身

文化奨励賞

平成19年度
和歌山県名匠表彰

地域社会における技術文化の向上
発展に顕著な功績のある次の方々
を表彰しました。(敬称略)



桑添 勇雄
(くわぞえ いさお)
棕櫚帯製作
紀美野町



三塚 明
(みつづか あきら)
伝統建築保存修理
紀の川市

試 験

県職員採用試験説明会

試験(教員を除く)の実施状況や公務の
魅力など
時・場 12月15日(土)14:30～16:00
都道府県会館(東京都千代田区)
1月7日(月)13:30～16:30
アパローム紀の国(和歌山市)
定 80人 300人
申 郵送、FAX、Eメールで住所、氏
名(ふりがな)、電話番号、年齢を
12月13日、は12月21日までに県人
事委員会事務局 FAX073-433-4085
☎e2101001@pref.wakayama.lg.jp
問 申込先 HP

観光医療指導師・観光健康指導士

観光医学講座(試験)により、それぞ
れの資格を県立医科大学が認定
時 1月22日(火)・23日(水)
場 県立医科大学 生涯研修・地域医療
支援センター(和歌山市)
対 医師、薬剤師、看護師などの医療
系国家資格保有者又は旅行会社の添
乗員、ホテルなどの観光事業者
費 25,000円(テキスト代等含む)
申 振込受領書を添付した受講申込書
をFAXにより1月10日までに県立医科
大学「観光医学講座」
FAX073-448-2977
http://www.wakayama-med.ac.jp/
sankangaku/index.html

12月は
滞納整理強化月間です

県と市町村、和歌山地方税回収機
構は、行政サービスの財源となる
税の確保と税の公平性を図るため、
度重なる催告にもかかわらず納税
の意思が見られない人に対しては、
財産の差押等の滞納整理を強化し
ます。まだ納税していない人は至
急納税してください
問 県庁税務課

国税電子申告・
納税システム(e-Tax)

e-Taxなら、
ホームページから簡単申告
最高5,000円の税額控除あり
添付書類が提出不要(一部書類)
還付金がスピーディー
問 税務署

いい歯いきいきフェア ～親子で楽しもう!歯・ハ・ハのおはなし～

内容 歯の検診・相談、正しい歯磨き指導、人形劇、クイズ
時 12月16日(日)13:30～15:30 場 和歌山市中央コミュニティセンター
問 県歯科衛生士会 ☎073-431-8616

# 催し

印の各館は65歳以上、障害者、高校生以下、外国人留学生等は入場料無料  
印の各館は65歳以上、障害者は入場料無料

は展示  
はイベント

●**県立近代美術館** ☎073-436-8690  
休館/月曜(祝日の場合次の平日) 12/29~1/3  
美術百科「色・いろいろ」の巻 12月22日~2月24日

●**県立博物館** ☎073-436-8670  
休館/月曜(祝日の場合次の平日) 12/29~1/3  
企画展「国宝・古神宝の美 - 熊野速玉大社の神々 - 」  
12月8日~1月14日

●**県立紀伊風土記の丘** ☎073-471-6123  
休館/月曜(祝日の場合次の平日) 12/29~1/3  
自然観察ガイド 冬 水鳥と樹皮・冬芽  
1月19日(土) 申 1月8日まで  
対・定 小学生以上 10組 (抽)  
第7回解説講座「古墳を探る - 古墳ガイドツアー - 」  
1月26日(土) 申 1月14日まで  
対・定 一般 30人 (抽)

●**県立自然博物館** ☎073-483-1777  
休館/月曜(祝日の場合次の平日) 12/29~1/3  
サンタが大水槽にやってくる!  
- 大水槽の潜水清掃作業公開 -  
12月9日(日)・16日(日)・23日(祝)13:00~15:00  
裏方探検ツアー のぞいてみたい水族館の裏側を探検  
1月26日、2月2日 いずれも土曜日10:00~12:00  
対・定 小学生以上(小学4年生以下は保護者同伴) 各20人  
(抽) 費 78円 申 1月12日まで

◇**県植物公園緑花センター** ☎0736-62-4029  
休園/火曜(祝日の場合次の平日) 12/28~12/31  
お正月を飾る寄せ植えの作り方「松竹梅の寄せ植え」  
12月16日(日) 事前申込必要 費 5,000円程度

◇**片男波公園万葉館** ☎073-446-5553  
休館/ 12/29~1/3  
企画展「きのくにを詠う」  
~1月20日まで

**県公館** ☎073-441-2213  
問 県庁管財課 入場無料 茶室、庭園などがあります  
1月13日(日) 10:00~16:00  
駐車場はありません。バス停「不老橋」下車徒歩1分

**県動物愛護センター** ☎073-489-6500  
入場無料 休館/火曜 12/29~1/3  
いぬ・ねこ譲渡講習会  
12月23日(日)、1月7日(月)、1月13日(日) 11:00~

譲渡講習会とは  
県内(和歌山市を除く)で捨てられたりした犬や猫の飼育を希望する方に飼い方講習を行うものです。なお、譲渡には講習会の受講と資格審査が必要です

目的: 模範的な飼い主になっていただき、その方を通して地域への正しい飼い方の普及をはかります

アフターフォロー: 譲渡後もしつけ方教室や相談に応じます。また、譲渡犬の里帰りイベントも行っており、今年設立された『わうくらぶ』で譲渡者同士の交流もあります

(譲渡犬以外であっても、ボランティアによるしつけ方教室もあります(費用は受講者負担))

県動物愛護センターでは、動物愛護教室や小学校の総合学習等の時間を活用した『わうくらぶ』も開催し、子どもたちに命の大切さや思いやりの心を伝えています

詳しくは和歌山県動物愛護センターのホームページで



## 12月1~10日は年末の交通事故防止県民運動期間です ~子どもと高齢者の交通事故防止~

- ・飲酒運転の根絶
- ・夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- ・後部座席を含むシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底 問 県庁県民生活課 [HP](#)

飲酒運転根絶  
わかやまキャンペーン  
(12月1日~1月31日)

# お気軽にどうぞ

年末年始の業務については、各機関にお問い合わせください

## 交通事故相談 ☎073-441-2359

【常設相談】月~金曜日  
場所/県庁交通事故相談所、東牟婁振興局(水曜日を除く☎0735-22-8551)  
【弁護士による相談】  
電話予約必要 先着各4人  
県庁交通事故相談所 1月16日(水)  
相談/14:00~16:00  
東牟婁振興局 1月18日(金)  
相談/13:00~15:00

## 高齢者相談 ☎073-435-5212

【常設相談】月~金曜日  
【専門相談】 日時はお問い合わせください  
【弁護士による相談】 12月27日(木)、1月11日(金) 電話予約必要  
場所/県高齢者総合相談センター(和歌山ビッグ愛7階) 無料職業紹介もあり

## 医療安全相談 ☎073-441-2611

【常設相談】月~金曜日  
場所/県庁医務課 県立保健所(支所)総務課でも実施しています  
【弁護士による相談】 事前予約必要  
12月26日(水)、1月16日(水) 13:00~17:00 場所/県庁医務課

## 県民相談 ☎073-441-2356

【常設相談】月~金曜日  
場所/県庁県民相談室  
【弁護士による相談】県庁県民相談室  
電話予約必要 先着各20人 受付9:00~  
1月11日(金) 予約12/20~  
1月22日(火) 予約1/15~  
【移動相談】 電話予約必要 先着各10人  
1月8日(火) 伊都振興局  
予約12/20~ 伊都振興局0736-33-4900  
1月24日(木) 日高振興局  
予約1/11~ 日高振興局0738-24-2936

## 消費生活相談

消費生活センター  
(日~金曜日) ☎073-433-1551  
(日曜日10:00~16:00電話のみ)  
消費生活センター紀南支所  
(月~金曜日) ☎0739-24-0999

## 福祉サービス相談 ☎073-435-5527

福祉サービスに関する問題を解決します  
【常設相談】月~金曜日  
場所/県運営適正化委員会(和歌山ビッグ愛7階 県社会福祉協議会内)  
FAX073-435-5584

## 労働相談 ☎073-436-0735

【常設相談】月~土曜日  
月・火・木・金曜日 10:00~16:00  
水曜日 16:00~20:00  
土曜日 10:00~14:00  
場所/労働情報センター(和歌山市北出島1-5-46)  
【労働委員会の委員による相談】  
12月19日(水) 電話予約必要  
先着3人 ☎073-441-3781  
場所/県庁労働委員会委員会室

## 人権相談 ☎073-421-7830

【常設相談】月~金曜日  
【弁護士による相談】  
12月20日(木)、1月10日(木)  
電話予約必要 ☎073-435-5420  
場所/県人権啓発センター(和歌山ビッグ愛2階) 県庁人権局、振興局でも相談をお受けします

## 警察相談 ☎#9110

犯罪被害や県民の安全等に関する相談  
相談日 毎日24時間  
ダイヤル回線の場合  
☎073-432-0110

## 発達障害児・者巡回相談

時・場  
橋本保健所 12月20日、1月17日、2月21日、3月27日  
新宮保健所 2月14日  
新宮保健所申本支所 1月10日、3月13日  
いずれも木曜日 9:00~14:00  
申・問 希望日の2週間前までに県発達障害者支援センター(和歌山市今福3-5-41 愛徳医療福祉センター内)  
☎073-413-3200 FAX073-413-3020

## 「グリーンケア」相談窓口

「グリーンケア」とは、自死で大切な人を亡くされた方(家族・知人・友人)の悲しみからの回復を支援することです。こうした相談に応じる窓口を開設しています。秘密は固く守ります  
時 12月10日、1月28日、2月25日、3月17日 いずれも月曜日13:00~  
場 \*県精神保健福祉センター  
申・問 相談日の前日までに会場  
☎073-435-5194 [HP](#)



## こころの気づき

### 差別落書きは人の心を傷つける重大な人権侵害です。

平成19年6月、和歌山県と大阪府にまたがるハイキングコースで極めて悪質な差別落書きが多数発見されました。また、過去にも、公園、駅、公営住宅などで差別落書きが見つかっています。県では、「和歌山県人権尊重の社会づくり条例」をつくり、差別のない、すべての人の人権が尊重される社会づくりに取り組んでいます。

差別落書きは、この条例の理念に反し、人の心を深く傷つけるもので、決して許されるものではありません。

このような差別をなくすためには、私たち一人ひとりが差別や偏見について自分自身の問題としてとらえ、「差別をしない、差別を許さない」という意識を高めていくことが大切です。

私たちみんなの力で、差別のない豊かな社会を築いていきましょう。

差別落書きを発見したらすぐに市町村人権担当課、振興局総務室、県庁企画部人権局まで連絡願います。

問 県庁人権政策課 ☎073-441-2563 FAX073-433-4540



「出張!県政おはなし講座」で地球温暖化防止対策についての話を聞きました。有意義でしたが、次回はもっと身近な温暖化対策や和歌山独自のテーマについても聞いてみたいと思います。 60歳代男性(御坊市)



この講座は、県職員がみなさんのもとへ伺い、希望のテーマについてお話しするものです。15名以上のグループが対象で、原則として希望日(土・日・祝日、夜間可)にお伺いします。医療、福祉、環境、産業、教育などの173テーマを用意していますので、お問い合わせください。 県庁広報室

# 「万葉のみち」(橋本市)「散策」

千三百年のむかしより大和の都から紀伊国へ多くの万葉びとが訪れ、中世から江戸時代には、高野街道や大和街道の交通の要衝として栄えた橋本市を橋本万葉の会の奥村浩章さんに案内してもらいました。

JR橋本駅、下兵庫駅、隅田駅下車

斉明・持統・文武・聖武天皇をはじめ宮廷人など様々な万葉びとがこの地を訪れています。当時は、困難な旅であったでしょうが、大和の人々にとって雄大な海がある紀伊国はあこがれの地でした。その玄関口である橋本市には数々の万葉歌が残されています。

## 1 橋本駅前の万葉歌碑

「白檜にほふ信土の山川にわが馬なづむ家恋ふらしも」当時の旅の難渋さと郷愁を訴える歌で、現在では、柿の木とともに訪れた人々を迎えています

## 2 妻の社

「紀の国に止まず通はむ妻の社妻奇しこそね妻と言ひながら」絶えずこの地に通うことで、妻を授けてほしいと詠んだ歌で、現在もこの地名が残っています



## 7 飛び越え石

真土山の山裾を流れる落合川にある浸食岩。手前側が和歌山県、向こう側が奈良県です。歌から古代の万葉びともこの石をまたぎ往き来した様子がうかがえます

## 6 真土万葉歌碑

「あさもよし紀人獲しも赤打山行き来と見らむ紀人獲しも」真土山を行き帰りに見ている紀の国の人を獲んだ歌といわれています。国道24号沿いにある歌碑で、真土周辺には7首の万葉の歌碑があります

## 人物面象鏡記念碑

(美智の釣5倍) 日本最古の金君文の一つとして貴重なもので国宝に指定されています(国立博物館に出品中)

## 5 真土の家並

真土山のふもと落合川に取り巻かれた集落は、大和街道の面影が残ります

## 4 隅田八幡神社

中世の動乱期に活躍した隅田一族の氏神として栄えた神社。平成9年、神功皇后遺物塚と伝えられていた本殿裏から、経典等が出土しました。又、1年を通して様々な行事があり、多くの人で賑わいます

## 3 利生護国寺

朱塗りの美しい寺で、奈良時代、僧行基の建立と伝えられています。本堂は国指定の重要文化財。本尊の大日如来座像は県指定重要文化財です

6月号の意見募集で、たくさんのご意見・ご提案をいただき、ありがとうございました

## 「和歌山を元気に」するために寄せられたご意見・ご提案

アンケートでは、今後県が力を入れるべき施策として、「福祉や子育て支援・医療」(80件)という回答が最も多く、次いで「交通網の整備」(72件)、「産業の活性化支援」(52件)の順でした。

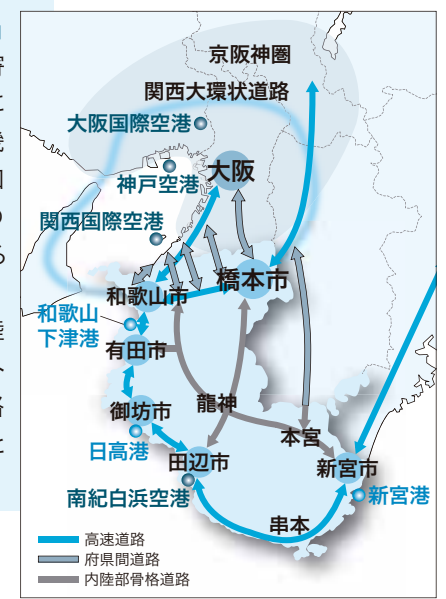
また、自由意見においても、「交通網・道路の整備」、「産業の活性化支援」、「福祉や子育て支援・医療」に関係するご意見を多くいただきました。

アンケート及び自由意見でお寄せいただいたご意見等で多かった上記の項目について、新長期総合計画に盛り込む内容を一部ご紹介します。

今回、新長期総合計画の策定に向けたアンケート・意見募集に、様々なご意見・ご提案をお寄せいただきました。(計392件)

「福祉や子育て支援・医療」に関して、地方に医療機関が少なく、老後や子育てについて不安があるというご意見を多数いただきました。このことについて、医師・看護師等医療従事者の確保による地域医療の堅持と、県民の皆様が安心して医療サービスを受けられるような環境整備の推進を図るとともに、健康づくりを推進していくこととしています。

「交通網・道路の整備」に関して多数のご意見が寄せられた高速道路の整備については、高速道路(近畿自動車道紀勢線、京奈和自動車道)ネットワークの形成及び4車線化を進めるとともに、これにあわせて、高速道路を補完する内陸部骨格道路(X軸ネットワーク道路)や府県間道路の整備も推進していくこととしています。(図参照)



「産業の活性化支援」に関して多くのご意見が寄せられた、県内にもっと働く場が必要であるという点については、地域資源を活用した新たな産業の創出や企業立地を推進するとともに、幅広く若者の雇用対策に取り組んでいくこととしています。また、和歌山県の魅力として最も多くのご意見をいただきました「優れた歴史・文化資産」や「豊かな自然環境」を次世代に引き継ぐとともに、この恵まれた特性を活用した観光の振興を図っていくこととしています。

紹介したご意見の他にも、いろいろなお意見等をいただきましたので、それらを参考にし、引き続き新長期総合計画の策定作業を進めてまいります。

### パブリックコメントについて

新長期総合計画の素案がまとまりましたら、和歌山県のホームページ等で幅広く県民の皆様のご意見等を募集する予定です。

問 県庁企画総務課

(道路整備のイメージ)

# 「川原家横丁」を覗いてみれば……

熊野三山の一社、熊野速玉大社(新宮市)のそばに、平成の「川原家横丁」(同市船町1丁目2番1号)が出現しました。それぞれの店舗では、海産物、土産品、果物、それに地元の銘菓などが販売されています。

川原家とは、釘を一本も使わずに組立、解体が簡単にできる家(店)のことで、江戸時代から昭和の初めまで、熊野川河口近くの権現川原に、最盛期には300軒近くもの川原家が建ち並び、川原町が形成されていました。

筏や三反帆と呼ばれる生活物資を運ぶ小舟がこの川原に着いただけでなく、熊野三山参詣客などを目当てに宿屋、米屋、鍛冶屋、散髪屋、飲食店それに銭湯などが軒を連ね、大変な賑わいでした。

戦後になり、交通・輸送路としての熊野川の役割が低下し、それとともに川原町自体がなくなりました。

県と新宮市が、往時の川原家を再現(木造平屋建て各11m)し、風情漂う新たな観光名所として売り出そうとしています。熊野速玉大社内にも以前から土産物店として川原家が1軒営業しており、相乗効果で参詣客などによる賑わいが周辺に戻ればと期待されています。



## 県政広報番組のお知らせ

テレビ テレビ和歌山(WTV)

きのくに21 (県の施策等を紹介)

日曜 9:30・(再)22:00

12月の予定

12月 2日 自慢のみかんをPR!  
～東海地域プロモーション～

9日 きのくにの名匠たち

16日 知事と語る

23日 きのくに21 2007をふりかえる

## 県民チャンネル

月・木・金曜日 20:55

火曜日 21:55

水曜日 19:55



ラジオ 和歌山放送(WBS)

## 県庁だより

毎日11:40・(再)18:00



## こほれ話

## ともに技を競おう! 県障害者技能競技大会 (アビリンピック和歌山2007)

障害のある方が、日頃職場等で培った技能を競うことによって、一層の職業能力の向上を図り、社会に参加する自信が持てるようにと、毎年、障害者技能競技大会が開かれています。

競技種目は、ワード・プロセッサー、データベース、喫茶サービス、パソコンデータ入力で、今回は総勢35人の参加がありました。

各種目の優勝者は、来年度の全国大会に出場することができ、そこでも成績が優秀であれば、今月号の特集(5ページ)で紹介した国際アビリンピックへの道も開けてきます。

ある参加者は、『こうした大会があることで、自分に自信が持て、日々の仕事の励みにもなります。』とのことでした。

障害があっても、懸命に取り組む姿がここにもあります。そんな姿を、みんなでもっと輝かせることができればよいですね。

問 県庁雇用推進課

広告 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報室 ☎073-441-2032